

CDはもちろん、ネットワークも装備されるすべての入力で十分な高音質を実現

AIRBOW CD50n Special

メーカー希望小売価格

¥328,000(税別)

コンプリートパッケージ

¥385,000(税別)

ノーマルモデル(marantz CD50n)からの

バージョンアップ料金

¥195,000(税別)



コンプリートパッケージは、真鍮製インシュレーター-AIRBOW - SWITCH-LEG を装着し、高級電源ケーブル AET - TSD-HS/AC 1.8m がセットになったお買い得パッケージです。

AIRBOW CD50n Special 開発コンセプト

AIRBOW CD50n Special は名称の通り、AIRBOW SACD 30n Replay から SACD (DVD データーディスクを含む) の再生機能が省かれています。ディスクをあまり聞かない人ならばこの部分はあまり気にならないと思います。しかし、DAC が「ディスクリットから ESS 製の DAC チップに変更される」という部分は、マニアでなくても気になるだろうと思います。AIRBOW CD50n Special の開発は、この DAC 部分の変更 (コストダウン) をいかに補い、上級モデルに通じる AIRBOW らしい音質を実現できるかが開発の焦点となりました。

AIRBOW CD50n Special の概要

私たちの身の回りの「電化製品 (電気回路)」は、スマホを例に挙げるまでもなく、「集積回路 (IC)」が多用されます。集積回路を使うことで「小型化・省エネ・低価格」が実現するだけでなく、回路設計もとても簡単になるなど「良いことづくめ」だからです。

それなのになぜオーディオ機器だけは「ディスクリット (大型回路)」が良いとされるのでしょうか？大きく分けて二つの理由が考えられます。一つは部品が大きく「電流を多く流せる」ことです。大電流のオーディオ回路からは、力強く厚みある音が出ます。特に低域の分厚さや高い密度感の再現は、IC の苦手とするところです。二つ目は、すべてを自社で設計できるディスクリット回路は「メーカーの独自性を打ち出しやすい」ということです。他メーカーとの差別化は販売戦略上、非常に重要です。

しかし、小さなチップの上ですべてのパーツが搭載される IC の内部配線は 1cm に達せず、この「圧倒的な信号経路の短さ」は、ディスクリット回路にはない優れた長所です。特に DAC のように「高周波 (高い周波数)」の信号を扱う回路では、この配線の短さが音質向上に大いに有利に働きます。価格の安さ故にその実力が不当に低く評価されやすい「IC」ですが、DAC に使う場合そのメリットは少なくありません。例えば、TAD の最高級 SACD プレーヤー「D700」に使われているのは、最新のディスクリット DAC ではなく、かなり古い形式の DAC チップ (IC) ですが、その音質は最新ディスクリット DAC を搭載する Grandioso の最高級モデルと比較して何ら引けを取ることはありません。

部品が 1 箇所に集約される IC は、入力される電源の品質に驚くほど敏感です。IC の音質を極限まで引き出すための「電源」として TAD D700 はあんなにも巨大な別置き電源を使います。この点は marantz も心得ていて、CD50n には、クラスを超える大型のトロイダルトランスが奢られています。また、搭載されるピュアオーディオ専用の最新最高級 DAC「ESS ES9038Q2M」の音質の要である「デジタルフィルター」に marantz オリジナル・デジタルフィルター「Marantz Musical Digital Filtering」を組み合わせることで、上級ディスクリット DAC モデルと統一された音色を再現するように仕立てています。

チューンナップの概要と音質傾向

綿密に解析し入念に設計された IC 回路は非常に歪みが小さく、濁りの少ない高解像度な音質を発揮します。DAC だけではなく出力回路にまで IC を多用する「TEAC 製品」は、音楽を聞いたときにやや「あっさり感じる＝面白みが少ない」ことがあります。それが IC サウンドの特徴です。この問題に対し marantz はアナログ回路に高級プリアンプに使われる高音質ディスクリット回路「HDAM」を複数投入することで「音の濃さ」や「色彩の鮮やかさ」、さらには「音の厚み」を補っています。

AIRBOW CD50n Special は、IC とディスクリットの二つの回路の特性を最大限引き出すように、チューニング

されています。IC 周りでは、電源を徹底的に強化することで音の細やかさ（特に小音量時のリニアリティの向上）と S/N をさらに伸ばし、出力プリアンプ回路では、電源だけでなく信号系の電解コンデンサーの全数を最高級オーディオグレード品に置き換えることで、低音の厚みやエネルギー感を大きく向上させています。さらに周波数フィルターに使われるピコファラッド単位のフィルムコンデンサーの全数を最高級品に交換することで、音場の透明感や色彩の鮮やかさを大きく向上させることに成功しています。

完成した AIRBOW CD50n Special の音質は非常にきめ細やかで透明度が高く「上質さ」を強く感じさせてくれます。「ハイエンド」を十分感じさせるそのサウンド・テイストは、最高級のデジタルプレーヤーに通じるものと自負します。

ネットワーク・HDMI / ARC も高音質

AIRBOW CD50n Special は、装備されるすべての入力で十分な高音質を発揮します。CD の再生では、これまでの CD プレーヤーでは聞き取れなかった細やかな音が再現され、経験したことがないほどの奥行き感と浸透力を味わえます。下手な SACD すら凌駕するほどのその音を知れば、もう SACD にこだわる必要はないと感じていただけるでしょう。

ネットワークの音質は各社から発売さえるネットワーク専用機を凌駕するほど細やかで透明感が高く、なによりもこれまで「ネットワーク音源」が苦手としてきた、アナログらしい音楽のデリケートな変化に驚かれることでしょう。これまで CD（ディスク）よりも音質が劣るという理由でネットワークをお聞きにならなかった方も、違和感なくストリーミングで音楽を楽しんでいただけたらと思います。

SACD 30n Replay には搭載されない「HDMI/ARC」は新しい規格ですが、使われるデジタル信号は従来の「同軸デジタル信号 (S/PDIF)」です。USB のように複雑な信号処理を必要としない S/PDIF (HDMI/ARC) の音質は USB 入力よりも優れています。音源が「TV」という問題がありますが、それでも TV で受信する各種「ストリーミングサウンド (YouTube や amazon Music、Netflix)」は、ほぼ CD と同等の音質で再生されます。

とことん音質にこだわられるマニアの方には、SACD の再生とディスクリット DAC が搭載される「AIRBOW SACD 30n Replay」をおすすめしますが、一般的に「最高の音質で音楽を楽しみたい」とお考えなら、AIRBOW CD50n Special で 100% ご満足いただけたらと思います。

主な仕様

- 再生周波数特性: 2Hz-50kHz(-3dB、PCM 192 kHz/24 bit)、2Hz-50kHz(-3dB、DSD)
- 対応ディスク: CD、CD-R 再生対応
- 音声出力端子: アナログアンバランス (FIXED) × 1、アナログアンバランス (VARIABLE) × 1、同軸デジタル × 1、光デジタル × 1、ヘッドフォン × 1
- 音声入力端子: HDMI ARC × 1、同軸デジタル × 1、光デジタル × 1、USB-A × 1、USB-B × 1
- その他入出力端子: ネットワーク × 1、Bluetooth/Wi-Fi アンテナ入力 × 2、RS-232C × 1、フラッシュ入力 × 1、マランツリモートバス (RC-5) 入出力 × 1
- 無線 LAN 規格: IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠 (Wi-Fi® 準拠)
- 消費電力: 35W
- 待機電力: 0.2W (通常スタンバイ) / 2W (ネットワーク制御オン)
- 寸法: W442xH130xD424mm (ロッドアンテナを寝かせた場合)、W442xH190xD424mm (ロッドアンテナを立てた場合)
- 重量: 10.3kg

お薦め関連商品



AIRBOW - MSU-X-TENSION2 (0.95m)

メーカー希望小売価格

¥ 22,000 (税別) / ¥ 24,200 (税込)